

IEEE MILESTONE (19)

・Birth and Growth of Primary and Secondary Battery Industries in Japan, 1893

日本の一次・二次電池産業の誕生と成長

関西支部

合資会社屋井乾電池は1893年に屋井電池発明特許を取得し、日本の乾電池産業を誕生させ、その発展に貢献した。この偉業を継いで、株式会社GSユアサとパナソニック株式会社は、産業機器および家電製品に搭載する第1次・2次電池の巨大市場を開拓し、日本の電池産業および家電産業を発展させた。

Citation (銘板に鑄込まれた碑文)

Yai Dry Battery Limited Partnership Company received a patent for Yai's battery invention in 1893, giving birth to the Japanese dry battery industry, and contributing to its growth. Following this success, GS Yuasa Corporation and Panasonic Corporation pioneered a huge market of both primary and secondary batteries installed in industrial equipment and in home appliances. It advanced Japanese battery industries and consumer electronics.



屋井乾電池
(東京理科大学近代科学資料館提供)



IEEE マイルストーン銘板



創業期(1920年代)の自動車用鉛蓄電池
(左)日本電池の製品(右)湯浅蓄電池製造所の製品
(GSユアサ提供)



初期の乾電池、リチウム一次電池、ニカド電池
(パナソニック提供)



左からIEEE関西支部 小野寺支部長、
パナソニックA I S社 伊藤社長、
東京理科大学近代科学資料館 大石学芸員、
IEEE Past President Peter Staecker氏、
長岡市 磯田副市長、
GSユアサ 依田社長

受賞の経過

- 1) Proposal Form提出：2013年5月27日、History Committee 承認：2013年10月14日
- 2) 2014年1月21日、Board of Directors により最終承認される。
- 3) 2014年4月12日、クラブ関西にて贈呈式、記念講演会、記念パーティーが行われた。